児童に見られるつまずき

　商が１より小さくなる等分除の場面で、除法が用いられることを理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　問題文や線分図、式を行き来させ、解答の見当を付けたり、妥当性について見直したりできるようにする。

指導事例集ｐ．５５

１　学年・単元名　　第４学年　小数÷整数（数と計算領域）

２　単元目標

・小数の仕組みや計算のきまりを用いて、（小数）×（整数）や（小数）÷（整数）の計算の仕方を考えようとしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】

・（小数）×（整数）や（小数）÷（整数）の計算の意味やその仕方について、整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりなどをもとに考えることができる。 　　【数学的な考え方】

・（小数）×（整数）や（小数）÷（整数）の計算ができる。　　　　　　　　 　　　 　【技能】

・（小数）×（整数）や（小数）÷（整数）の計算の意味やその仕方を理解する。 　【知識・理解】

参考：単元について

３　単元の内容

・（１/１０の位までの小数）÷（１位数）の計算の仕方

**・（整数、小数）÷（整数）で、単位を落として考える場合**

・（小数）÷（１位数）の筆算

・同上で、商が純小数のもの

・（小数）÷（２位数）の筆算

・あまりのある場合の筆算

・わり進む場合の筆算

・商を概数で表す場合の筆算

・小数倍の意味

４　本時の目標

　　（整数）÷（整数）で商が小数になる場合や（１／100の位までの小数）÷（整数）の計算の仕方を考え、その計算の仕方を考える。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | 児童（生徒）の活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入展開まとめ | １　問題を把握し、学習課題に対する見通しをもつ。２mのひもを同じ長さに切って4人で分けます。1人分の長さは何mになりますか。２÷４のようなわり算の計算の仕方を考えよう。２　解決する。　（個人思考）・２を４でわることなんてできるの？・20÷４＝５　５ｍ・２÷４＝0.5　0.5ｍ　　（グループ）・５ｍが答えなら、もとのひもより長いことになるよ・図から考えると50㎝だよね？・線分図・テープ図を使って説明する。３　全体で解法を確認し、まとめる。・２　÷　４　＝　□　　↓×10　　　　　↑÷10　　20　÷　４　＝　５・２は0.1の20個分　　２÷４は0.1が（20÷４）個分　　だから２÷４＝0.5４　異なる場面の問題をやってみる。0.12÷４の計算の仕方・0.01の数で考えよう。・12÷４で求められそう。参考：板書５　学習をふりかえる。（１）練習問題をする。（２）振り返りをノートに書く。 | **・具体物をもとに、ひもを分割する場面をイメージさせる。****・テープ図は黒板に掲示し、数量関係を視覚的にとらえ、思考させる手掛かりとする。**・問題場面からわり算の式で表せる問題であることをおさえ、立式させる。・思考する手掛かりとして、図や線分図に表してみるよう促す。・図と式を用いて、自分がどのように考えたのか、グループで伝えあうように声をかける。・立式して求めた商が何を表しているのか説明できるように指示する。**・線分図をもとに商が妥当なものなのか、児童に問いかけ、確認させる。**参考：板書**・被除数を10倍して計算し、商を10分の1にする考え方から取り上げ、本当にそれでよいか問い返すことで、さらに深く考えさせる。****・線分図をもとに、0.1を単位として考えていることを確認する。**参考：ノート①②・主問題と比較させ、違うところがないか考えさせた上で取り組ませる。**・式のみで解決させず、絵や図と関連させながらペアで説明し合うように指示する。**◇（１／100の位までの小数）÷（整数）の計算の仕方を考え、その計算の仕方を考えることができる。　　　　　【数学的な考え方】・本時の学習で分かったことや考えたことを書く。 |